

幕別町

2339 山口未紗

1, 概要と歴史

1.1 地名の由来

アイヌ語の「マクウンベツ」(山際を流れる川または後ろ川)が由来。幕別町には十勝川を始め札内川や猿別川などが流れている。

1.2 町章

1961 年 12 月 24 日に幕別町の町章として正式に決定された。図案は一般公募で募集された。『「幕」は末広がりになり伸びゆく幕別を、「別」は町民の和を表す。すなわち、町民の和を礎に発展していく町である』という意味が込められている。

図 1 町章



出所：幕別町 HP

1.3 町木・町花・町鳥

幕別町では町木・町花・町鳥が定められている。町木は「柏」、町鳥は「白鳥」、町花は「芝桜」と「すずらん」となっている。柏は北海道から九州までの温帯から暖帯にかけて生育し、痩せた乾燥地帯でも育つ。秋に枯れた葉が張るまでつuitまま、新芽がでるまでは落葉しないことから「代が途切れない」縁起物とされ、柏餅を包むのに用いられる。また、道東や道北では防風林として植えられることもある。

画像 1 柏



出所：幕別町 HP

画像 2 白鳥



出所：幕別町 HP

画像 3 芝桜



出所：幕別町 HP

画像 4 すずらん



出所：幕別町 HP

1.4 歴史

1869 年に開拓使が置かれ、ヤムワッカ村・チトロ村・イカンベツ村・ヘチャロ村・マクウンベツ村の 5 村が定められた。これが幕別町の母体であるが、この当時はアイヌ民族が少し住んでいただけだった。記録のうえで幕別に住んだ最初の和人は細谷十太夫直英である。細谷は仙台藩士で、戊辰戦争後、大赦令が発令されたのちかつての部下を率いて北海

道の開拓に尽力した。その後 1889 年に永井三治が止若村(現在の明野)に入地。開拓に従事した最初の人物となる。1900 年に依田勉三は石狩地方から種もみを手に入れ、途別農場で試作した。これが十勝の米作りのルーツである。1905(明 38)年には釧路線が開通し、洪水や地形の問題から当時幕別の中心地だった遠別市街ではなく止若(現在の幕別市街)に駅が設けられた。また 1969 年に日本で初めてナウマン象の化石が発見され、1983 年には社会体育の分野におけるコミュニティスポーツの取り組み課題解決策としてパークゴルフが考案された。2006 年には幕別町と忠類村が合併し、新「幕別町」が誕生した。

表1 幕別町の歴史	
	出来事
1882年	細谷十太夫が和人として初めて幕別に入る
1897年	遠別市外に幕別外6ヵ村戸長役場を設置
1900年	依田勉三が水田の試作に成功
1906年	幕別村と他4村が合併して二級町村・幕別村になる
1919年	一級町村・幕別村になる
1946年	幕別町になる
1969年	旧忠類村でナウマン象の化石発見
1983年	パークゴルフが考案される
2006年	忠類村を編入合併

出所：wikipedia より筆者作成

2. 地理・気候

2.1 地理

十勝総合振興局のほぼ中央(東経 143 度、北緯 42 度)に位置。帯広市東部と隣接している。中北部に十勝川が流れ、流域は平野となっている。その他の地域は丘陵地帯である。町の東側は古くから町の中心地であったが、西側は帯広市に隣接するため 1975 年頃からベッドタウンとして住宅地が急増した。町の人口の大部分は北端部の幕別本町と札内地区と忠類地区に集中しており、その他の地域は森林か牧場、畑がほとんどである。総面積は 477.68km²。

図 2 位置

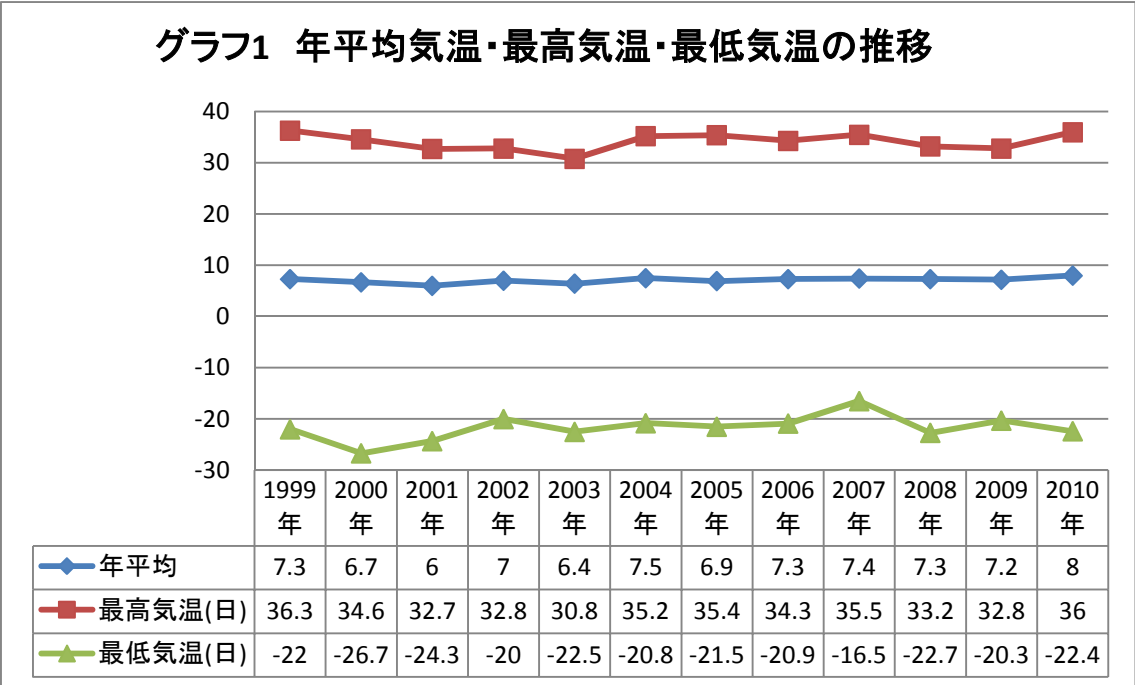


出所:幕別町観光産物協会

2.2 気候

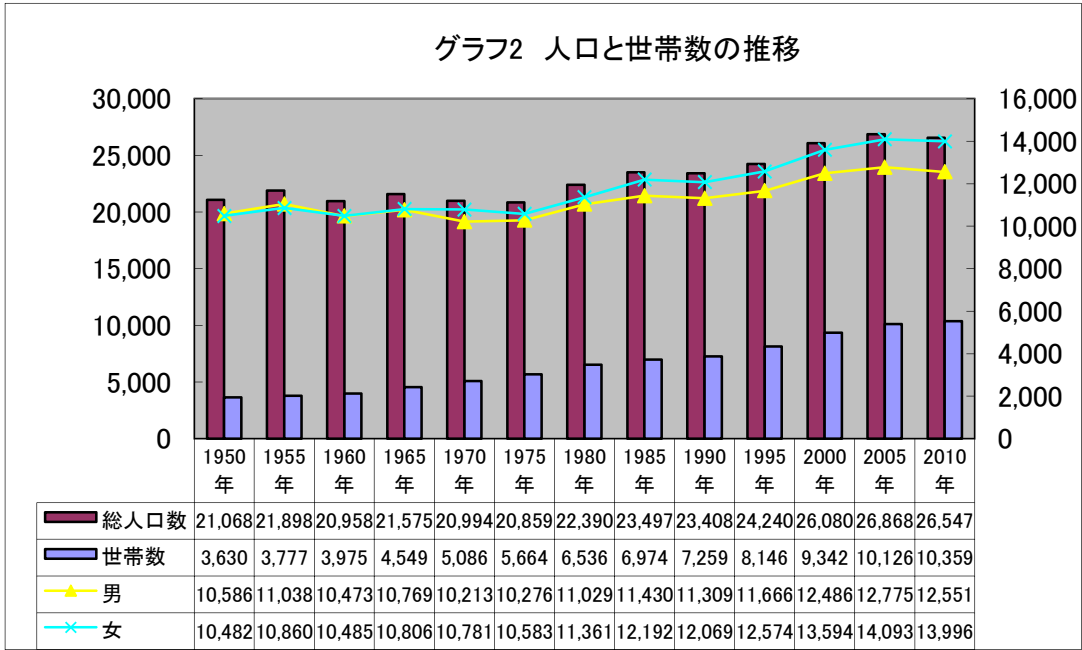
内陸性の気候で、夏は 30℃を超える真夏日が多く猛暑日が観測されることもあるが朝晩は非常に涼しくなり乾燥しているために過ごしやすい。年平均気温は約 7℃で日照時間が 2040 時間と降水量も少なく、湿度の低い晴れの日が多いために冬は放射冷却(高温の物体が周囲に電磁波を放射することで気温が下がる現象)が起こりやすく大変冷え込む。そのため

平均最低気温は非常に低く、－20℃以下に達することもある。降雪量は比較的少ないが、低気圧の発生により突発的な豪雪となることも多い。



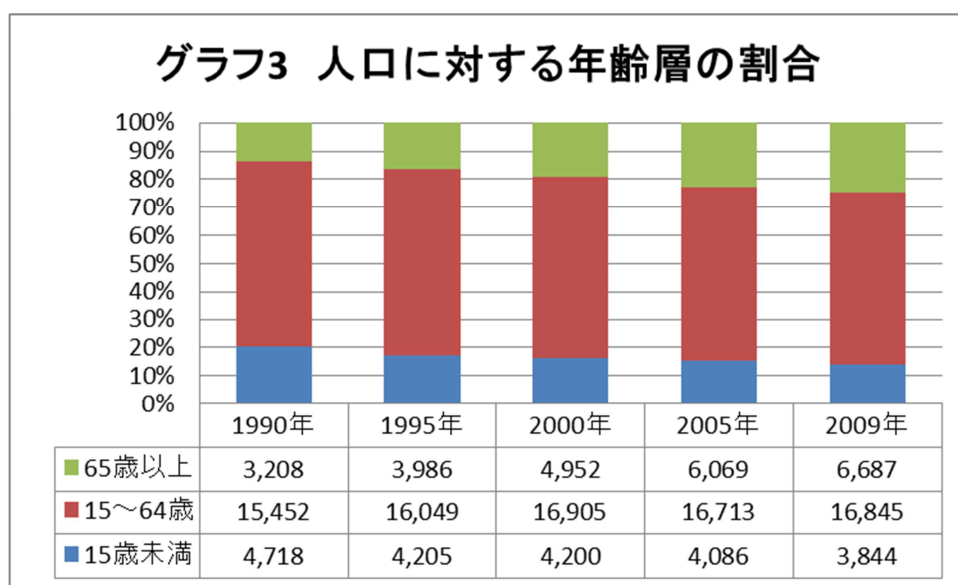
出所：幕別町 HP より筆者作成

3. 人口・世帯数推移



出所：国勢調査 HP より筆者作成

人口は2010年では26,547人で男女比はそれほど差はないが女性の方が少し多い。世帯数は10,359世帯である。人口が1955年頃から減少する一方で世帯数は少しずつ増加し続け、1990年頃からは人口も世帯数ともに増加してきたが、近年は横ばいの状態である。年齢階層別に見ると、15歳未満の人口の割合は減少傾向にある反面、65歳以上の割合は増加傾向にあり少子高齢化が進んでいる。また出生数及び出生率は共に減少傾向にあり、近年は北海道の出生率を下回っている。世帯数は増加傾向だが一世帯当たり人員が減った。三世帯世帯の割合が低下し、単身世帯を含むその他の世帯の割合が増えている。

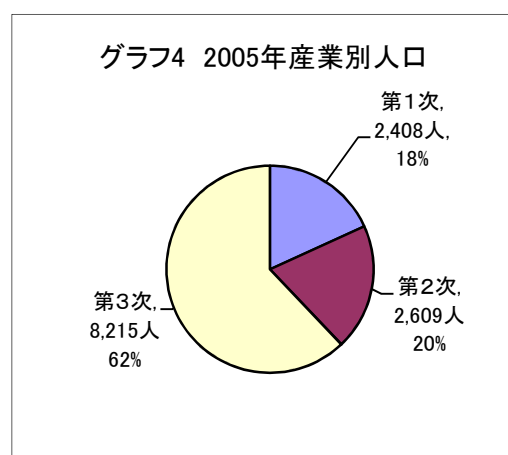


出所：幕別町次世代育成支援対策地域協議会資料より筆者作成

4. 産業

4.1 産業別人口

産業別に見てみると、第一次産業就業者は2408人で18%、第二次産業就業者数は2609人で20%、第三次産業就業者数は8215人で62%となっている。幕別町は長芋や小麦、ユリ根といった第一次産業が有名であるが、産業別人口でみると第三次産業が半数を超え、第一次・二次産業は約2割となっている。また第三次産業就業者数が年々増加するのに対して、第一次産業就業者数は減少傾向にある。第三次産業増加の要因として、スキー場や温泉など観光にも力を入れてきたということがあげられる。



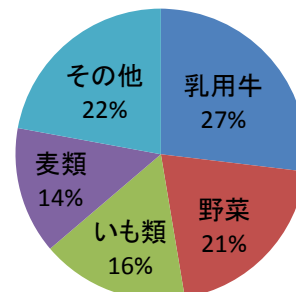
出所：国勢調査 HP より筆者作成

4.2 農業

幕別の中心産業である農業は、中・北部にあたる幕別地区で畑作物や野菜生産を主体とし、南部の中山間地である忠類地区では酪農を主体とする。テンサイ、小麦、馬鈴薯、豆などを生産している。近年は長芋、レタス、ユリ根などが有名。特に長芋は作付面積、生産量が全国一になり、2004年に品種登録された長芋の新品種である「和稔じょ幕別1号」は幕別町が唯一の産地である。酪農・畜産では、幕別地区を中心に酪農経営、黒毛和種繁殖経営及び重種馬繁殖経営が耕種と複合して行われている。

農業産出額の合計は2189千万であり、その内訳は乳用牛が27%で589千万、野菜が21%で448千万、いも類が16%で359千万、麦類が14%で309千万、肉用牛や工芸農作物などを含むその他は22%で484千万である。

グラフ5 農業産出額の内訳



出所：わがマチ・わがムラ HP より筆者作成

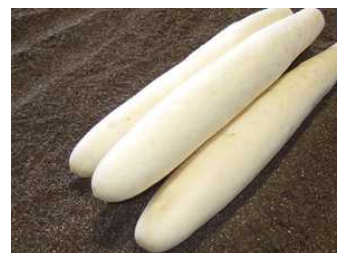
4.3 特産物

幕別町の特産物として「和稔じょ幕別1号」がある。農業の項目でも述べたが幕別町が唯一の産地で、長芋特有の毛や毛穴がほとんどなく、肌もすべすべで見た目がとてもきれいなのが特徴。皮を剥かずにそのまま食べられるが土臭さのようなものはほとんどなく、甘みがあつてフルーティーな味がする。

また「インカのめざめ」も特産物のひとつで、幕別町はまだ品種のついていない1997年からいち早く試験栽培を始め、現在では全国一の生産量を誇っている。肉色は橙色に近い黄色で、栗に似た独特の甘みと香りがある。油加工の褐色も少ないのでポテトチップスにも加工でき、冷蔵保存すると甘みが増すのでお酒の材料にも使われる。そのため特産物の中にはいも焼酎もある。

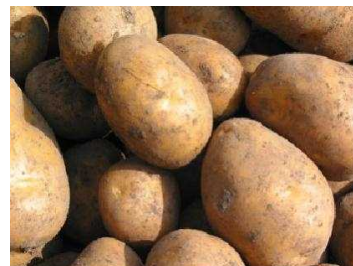
他にも食用ユリ根や十勝美豆など様々なものがある。これらの農産物以外に「純白ゆり根シュークリーム」や「ナウマン饅頭」などのお菓子も名物になっている。

画像5 和稔じょ幕別1号



出所：JA 幕別 HP

画像6 インカのめざめ

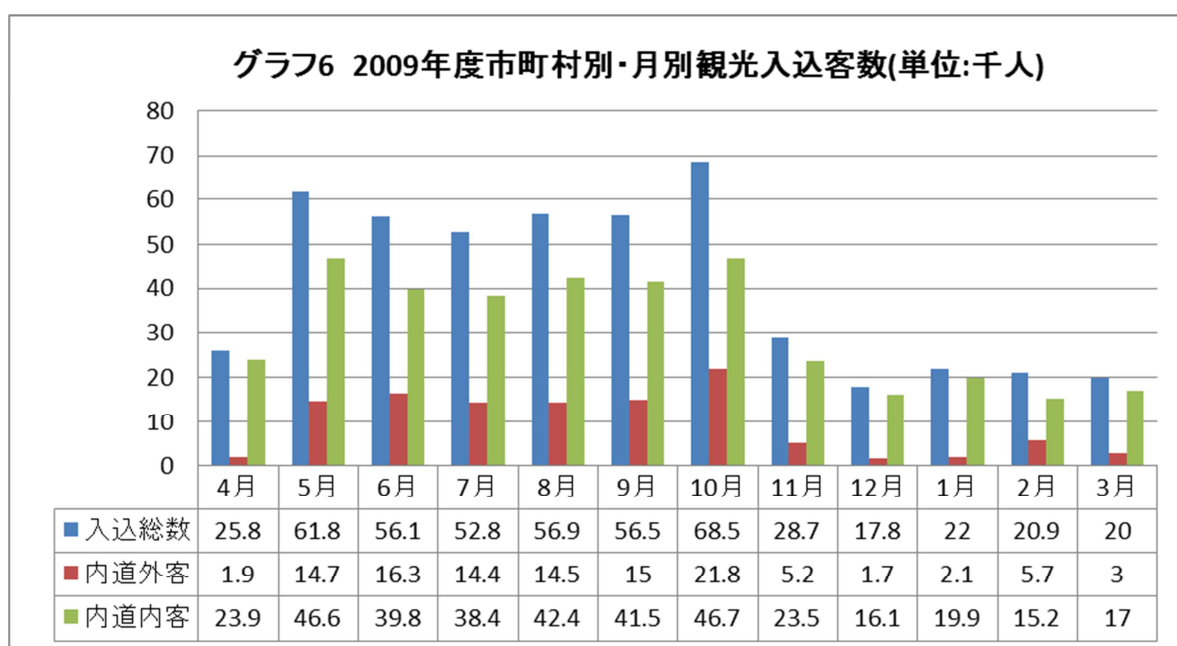


出所：北海道庁 HP

5. 観光

5.1 観光客数

幕別町の観光客は内道内客がほとんどで、内道外客は比較的少ない。また冬は 20 万人前後に留まる一方で、春から秋にかけては 60 万を超える入込客数がある夏型の観光地ということがわかる。これは幕別が発祥であるパークゴルフの大会や産業まつりなど多数のイベントがあり、帯広市も近く行きやすいということが理由として推測される。今後は冬期の観光客を増やすために温泉やスキー施設、イベント、特産物を積極的にアピールし、道内観光客だけではなく道外にも目を向けることが必要になってくると考える。



出所：観光入込客数調査報告書より筆者作成

5.1 忠類白銀台スキー場

旧忠類村にある南十勝で唯一のゲレンデスキー場。上級者コースから十勝一広いと言われるソリの専用コースがあり幼児まで楽しめるファミリーゲレンデで、ペアリフト、ナイター照明も完備され、爽快地滑ることができる。スキー学校は幼児からシルバーまで各種コースがあって、スキーやスノーボードのレンタルもしている、ロッジには食堂と売店があり、味噌ラーメンがおすすめ。

画像 7 忠類白銀台スキー場



出所：幕別町 HP

5.2 明野ヶ丘公園

会期 100 年を記念してつくられた展望施設「ピラ・リ」。そこからの眺めはとても美しく、幕別の市街や畑作風景、日高山脈を一望できる。公園は 25 万平方メートルの広大な敷地を誇り、パークゴルフ場やアスレチックが充実している。ファミリーをはじめとした様々な人で賑わうスポットとなっている。「ピラ・リ」はアイヌ語で「偉大な崖」を意味し、幕別市街の旧名・止若が「ヤムワッカ・ピラ」（清らかな水の湧き出る崖）を由来とする。

画像 8 ピラ・リ



出所：幕別町 HP

5.3 ナウマン温泉ホテル アルコ 236

上記であげた忠類白銀台スキー場の近くにある温泉施設。ナウマン温泉の泉質はアルカリ性単純温泉でアルカリ性が強く、肌がツルツルになる。レストランでは幕別町の特産品であるユリ根を使った料理があり、特にかき揚げが美味しい。敷地内にはパークゴルフ場やナウマン象記念館や道の駅、直売所、キャンプ場などがあり、一日中楽しめるスポットとなっている。

画像 9 ナウマン温泉ホテル



出所：幕別観光産物協会 HP

5.4 イベント

また幕別町では様々なイベントが開かれている。春や夏にはパークゴルフ大会や畜産祭り、夏祭りが開かれ、札幌夏祭り・まくべつ夏フェスタでは高校生による催し物が披露されてフィナーレは花火で締めくくられる。忠類地区で行われる忠類どんとこいむら祭りでは牛の丸焼きの販売を始め、食用ユリ根やジャガイモ、ゴボウなどの特産物の販売も行われるほか、羊毛加工実演会や豆のすく取りも楽しめる。冬にはスキー大会やそり大会が催される。そり大会では人間ボウリング大会などが行われ会場を盛り上げている。このようにシーズンごとに様々なスポーツ大会や講座が開かれていて、イベントには幕別町のご当地キャラクターのパオくんが参加することもある。

画像 10 パオくん



出所：YAHOO!

6. 出身有名人

様々な分野で幕別町出身の有名人が活躍している。北京オリンピック・ロンドンオリンピックに出場した陸上短距離選手の福島千里氏や同じく両オリンピックに出場した山本幸

平氏がいる。他にもスピードスケート選手の高木美帆氏や漫画家の荒川弘氏がいる。

「リンゴの唄」を作曲し、美空ひばりなど多くの有名歌手の歌の作曲を手がけた万城目正氏も幕別町出身である。

<参照ホームページ>

- ・幕別町 HP : <http://www.town.makubetsu.lg.jp/>
- ・わがマチ・わがムラ HP : <http://www.machimura.maff.go.jp/machi/>
- ・wikipedia : <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%95%E5%88%A5%E7%94%BA>
- ・幕別町観光産別協会 : <http://www.makubetsu.jp/kankobussankyokai/>
- ・総務省統計局 : <http://www.stat.go.jp/>
- ・北海道庁 HP : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/index.htm>
- ・公益財団法人幕別町農業振興公社 : <http://north.hokkai.net/nogyosinkokosya/index.html>
- ・JA 幕別町 : <http://ja-maku.com/>
- ・YAHOO! : <http://search.yahoo.co.jp/>